

第36回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は連覇しました！！(全国大会無くて残念...)



第36回埼玉県都市対抗テニス大会が1月22日(土)、23日(日)大宮第二公園テニスコートで開催されました。昨年に続きコロナ禍無観客試合となりましたが、2日間ともこの時期としては天候に恵まれました。さいたま市チームは、決勝戦で初対戦となった第二シードの和光市に勝利し、見事連覇を果たしました！

【試合結果】

○1回戦、東部地区の白岡市と対戦し、登録メンバー全員が出場し、全勝で2回戦に進みました。

大宮第二公園がコート改修中のため、変則2面進行となりました。その分、選手の応援に集中出来ました。初戦は緊張するものですが、皆伸び伸びとプレーゲームを積み上げていきます。男子シングルの山本選手は、対戦相手の故障により1G打ち切りとなり、急遽2回戦はダブルスで出場する事となりました。

○2回戦は、西部地区第二代表の新座市と対戦、5-0で勝利しました。

新座市とは、昨年まで3年連続決勝戦で対戦しましたが、早くも2回戦での対決となりました。今回も接戦を予想しましたが、一般男子の山本・二反田ペアが強豪相手に接戦に持込み、見事8-6で勝利。女子の西村・星野ペアも終盤追い上げられたものの、8-6で振り切り幸先よく2勝しました。これに続くベテラン勢の、石田兄弟ペア(45男子)、小野田・川崎ペア(45女子)、塩澤・関根ペア(55男子)も完勝し、5-0で準決勝進出を決めました。

○日曜日の準決勝は、同じ南部地区第三代表の戸田市との対戦となりましたが5-0で決勝進出を決めました。

準決勝は、南部予選でも対戦した戸田との再戦です。その時より、一般を補強しており油断は出来ません。一般男子の土肥・二反田ペアは南部で負けたリベンジ戦です。前回はリードしながら逆転されましたが、今回はしっかりリード守り貴重な一勝を上げました。一般女子の西村・星野ペアは常にリードされる苦しい展開でしたが、終盤にひっくり返して逆転勝利です。一般の勝利に勢いを得て、ベテラン勢は相手を圧倒し5-0でいよいよ決勝戦です。

○決勝戦は第二シードの和光市との初対戦です。関東学生の姉妹ペアを擁し接戦が予想されました。

決勝戦は、西部地区を優勝した第二シードの和光市との初対戦です。一般男女複の結果が帰趨を決めると考え、女子は大学でもペアの大河原・星野組(二人ともインカレ選手です！)、男子は昨日の再現を目論見山本・二反田ペアで臨みます。女子は、中盤まで一進一退の展開ですが、終盤に勝機を見出し8-5で勝利しました。一ポイントが非常に濃縮していて無観客なのが残念な内容でした。男子も何とか食いついて行きましたが、最後突き放され5-8の敗戦です。ベテランは、和光市も強豪ぞろいです。しかし、女子の一勝を活かし、ダブルスでの決着を目指します。45男子の石田兄弟ペア、女子の小野田・川崎ペアは強敵相手にも確実にゲームを重ね2勝、55男子に4勝目が掛かりました。塩澤・関根ペアも序盤リードを広げますが、終盤関根監督がスタミナ切れ？で追い上げられます。が、最後は2枚腰で打ち切り8-5で勝利し、シングルスを待たずに優勝を決めました！！

○総括

選手及び役員の皆様、コロナ禍での2日間本当にお疲れ様でした。お蔭様で昨年に続き連覇出来ました。昨年の栃木全国大会は5位入賞出来ましたが、今回は選手を半数以上を入れ替え、二反田さん、土肥さん、川崎さんの3名が新たにメンバーに加わりました。今年は全国大会に繋がらないため、各市の戦力も分からず半信半疑での対戦となりましたが、結果的に決勝戦の一般男子複を落とすだけの快勝でした。ちょっと出来すぎ？ですが、決勝戦は一步間違えば逆の結果も有り得たので、一般女子の大河原・星野ペアの勝利が大きかった。恐らく、今大会のベストバトルでしょう！秋からは来年に向けた南部予選が始まります。今回の結果に満足せず、2023年の佐賀大会出場を目指して、選手・役員共に研鑽していきますので、引き続き応援よろしくお願い致します。

選手紹介



星野遥香 一般女子
西村渚沙 西村渚沙
大河原悠 大河原悠



一般男子
土肥哲 土肥哲
山本翔太 山本翔太
二反田航 二反田航



ベテラン男子1部
石田洋平 石田洋平
石田大地 石田大地



ベテラン女子
小野田愛子 小野田愛子
川崎民江 川崎民江



ベテラン男子2部
塩澤正樹 塩澤正樹
関根浩王 関根浩王

